

令和4年度事業報告書

特定非営利活動法人DOG DUCA

1 事業の実施の概略

特定非営利活動法人DOG DUCAは、愛知県内の名古屋市を中心に地域社会に対して犬の保護と里親探し、人と犬との共存生活に関する事業を行い、衛生問題や飼育拒否等の問題の改善や解決を図り、犬を飼う方のモラルの向上と、人と犬のより良い共存生活の増進に寄与することを目的とし、次の事業を実施した。具体的には、本法人の定款第5条第1項第1②の事業として、犬の保護と里親探し事業及び第1号③の事業として、犬の適正なしつけ指導と普及と啓蒙事業を実施した。

2 事業の成果

今年度は、2019年10月よりスタートした「シニアドッグサポーター制度もあり、高齢者からの高齢犬引き取りが大変多くありました。高齢者から直接又は高齢者施設からの相談の依頼が増えています。その他、犬の置き去りも2件ありました。引き取り全体の6割が、高齢者からの依頼、高齢犬の引き取りになり、今年度もこの問題解決に取り組みました。

毎年恒例の「生命の授業」については、まだまだ終息を見せないコロナの影響もあり、小中学校併せて4校になりました。しかし、オンラインセミナーの依頼が増え「保護犬と幸せな暮らしのために」や「犬の気持ちと本能を知ろう」というセミナーを行いました。受講者も1回につき200名を超えました。

犬の飼育拒否を含めた相談が86件ありました。そのうち44件については、個々に抱える問題解決のアドバイスと共に、飼い主の意識改善を行い、飼育拒否になることなく現在も生活を共にすることができています。時には相談が再度寄せられる事もありその都度相談に乗っています。残る42頭については、特定非営利活動法人DOG DUCAにて引き取りました。現在も35頭の高齢・病気の子達がいいます。

本年度は特にシニアサポーター制度の、高齢・病気・嘔みつき行動のある子を優先して引き取りました。病気治療の方もメラノーマの末期癌だったりレーベン切除手術や、乳腺潰瘍・睪炎で入退院を繰り返したりラ等、高額治療費が掛かる子や心臓病・皮膚病など一生継続治療の必要な子達が増えてきました。

今年度治療を継続しながらも残念ながらDOG DUCAで亡くなった子は5頭です。

しかし最後まで痛みや苦しみの無い様に治療と我々の出来る限りのケアの最善は尽くしました。

犬の適正なしつけトレーニング指導と正しい知識などの普及と啓蒙活動については、もりやま犬猫病院様で毎月一度、10組の定員で「しつけ教室・育て方教室」を行い参加件数が月10組の年間120組でした。

参加されたご家族の接し方に問題のあるケースもあり、個々にしっかり人と犬とが幸せに暮らせる為のアドバイスをし、動物愛護・動物福祉に取り組みました。

保護犬の子達が、より快適に暮らせる為のクラウドファンディングにて皆様にご

支援をお願いし、約770万円のご支援をいただき、手数料を引き約600万円にて犬が快適に暮らせる環境づくりの内装工事を2022年2月に無事終えることが出来ました。皆様からの支援に心より感謝申し上げます。

今年度もTV・新聞などで「シニアドッグサポーター」や「コロナ禍のペット事情」などの取材ロケがありました。2023年も引き続き、高齢犬・病気・噛み付きの子など、引き取り先が少なく断られやすい子達を救えるよう力を入れていきます。

そして、高齢者の方と関わりのある福祉施設、社会福祉協議会、仲介センターなどの方々からの相談にも乗れる保護団体として連携して相談窓口になるよう努めていきます。

3 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

ア 犬の適正なしつけ指導と普及と啓蒙事業

(ア) 事業内容

犬の適正なしつけ指導を通じて、地域社会でのマナーやモラル向上を深めるとともに、飼育拒否等の問題の現況、解決に向けた犬と人とのより良い共存生活講座を、もりやま犬とねこの病院において、一般市民を対象に無料で開催した。

(イ) 開催日時

もりやま犬とねこの病院開催・・・令和4年1月1日～令和4年12月31日の内、毎月約1回で年間12回

(ウ) 会場

もりやま犬とねこの病院

(エ) 講師及び従事者

講師高橋忍(本法人の理事)、会場設営・受付要員1名(DOG DUCA職員)

(オ) 受講者

120組の家族(犬の飼育拒否や犬の地域社会問題に関心を持ちそのモラル向上と普及及び啓蒙活動に関心のある一般市民)及び犬

(カ) 費用

209,290円

(内訳)

資料コピー代89,290円、講師及び会場設営・受付要員旅費(延べ48名)120,000円

(キ) 収益

0円

イ 養護施設等でのアニマルセラピー事業

(ア) 事業内容

犬の処分問題に対する地域社会の理解・知識を広めるため、また高齢者入居施設への訪問を行い、社会福祉を通じて犬の社会貢献を推進する事業。

(イ) 開催日時

本年度の活動なし

(ウ) 会場

(エ) 講師及び従事者

(オ)参加者

(カ)費用
0円

(キ)収益
0円

ウ 犬の保護と里親探し事業

(ア)事業内容

捨てられて殺処分される犬を保護して預かり、地域社会を通じてその現状を発信することにより新しい里親を探し、人と犬とのより良い共存生活が可能なる社会を再構築する手助け事業を、経常的に無料で行った。

(イ)開催日時

令和4年1月1日～令和4年12月31日まで常時

(保護犬が里親へもらわれていくまで)・・・相談数86件、里親への譲渡頭数約44頭、ほか保護中の頭数約42頭 合計86頭

(ウ)会場

DOG DUCA事務所及び高橋忍(本法人の理事)自宅、里親預り会員各自宅

(エ)講師及び従事者

高橋忍(本法人の理事)、DOG DUCA職員、里親預り会員のべ80名

(オ)対象犬

相談・保護された犬86頭(NPODOGDUCAにて引き取り:42頭)

(カ)費用
5,659,542円

(内訳)

資料コピー代135,110円、動物病院代(年間)3,085,937円、トック'フート'代(年間)372,546円、ボランティア謝礼費1,202,271円、通信費6,160円、消耗品費727,178円、ボランティア交通費120,000円、施設利用費10,340円

(キ)収益
0円

③ 会議の開催に関する事項

令和4年3月22日 社員総会